



## 2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年1月27日

上場会社名 エムケー精工株式会社  
 コード番号 5906 URL <https://www.mkseiko.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 2022年2月2日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 丸山 将一  
 (氏名) 酒向 邦明  
 TEL 026-272-0601

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年3月21日～2021年12月20日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	19,150	2.3	1,123	33.5	1,220	31.9	740	34.1
2021年3月期第3四半期	19,604	2.1	1,690	26.1	1,791	31.1	1,124	36.1

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 834百万円 (33.8%) 2021年3月期第3四半期 1,261百万円 (32.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	50.88	
2021年3月期第3四半期	77.33	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第3四半期	27,248	12,686	46.6	870.11
2021年3月期	25,113	11,950	47.6	821.90

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 12,686百万円 2021年3月期 11,950百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		8.00	8.00
2022年3月期		0.00			
2022年3月期(予想)				8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年3月21日～2022年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,500	0.5	950	37.0	950	40.9	550	5.4	37.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	15,595,050 株	2021年3月期	15,595,050 株
期末自己株式数	2022年3月期3Q	1,015,311 株	2021年3月期	1,055,223 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	14,562,903 株	2021年3月期3Q	14,539,827 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報) .....	8
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大により緊急事態宣言の再発出や期間延長があったものの、ワクチン接種の進展、各種政策効果や海外経済の改善に伴い、経済社会活動の正常化に向けた動きが見られるようになりました。一方で、世界的に広がりを見せる新たな変異株の出現により、新型コロナウイルス感染症の収束は未だ見通しが立たず、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが関連する業界におきましては、移動制限や各種イベントの中止・縮小など、営業活動の制限を余儀なくされ、またサプライチェーンの乱れや原材料価格の高騰など、厳しい経営環境となっております。

こうした状況のもと当社グループは、お客様、お取引先はもとより、社員及びその家族をはじめとする全てのステークホルダーの皆様の安全と健康を最優先に、新型コロナウイルス感染防止策を講じ、テレワークやオンライン会議の積極的な活用、対面からオンラインによる営業活動の推進など、継続して「新しい働き方」の定着に取り組んでまいりました。

また、中期経営計画の最終年度となる2021年度は、この計画に掲げた方針に基づき、諸施策の取り組みを更に深化させ、また外部環境の変化を前提とした強固な経営基盤の再構築を試みながら、「美・食・住」を軸とした次の成長ステージへ向けて、モノづくりとサービスの融合による顧客価値の追求と、需要の変化を見極めた新商品の開発及びサービスのデザイン並びに新たな事業の創出にグループ一丸となって取り組んでおります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は191億5千万円（前年同期比2.3%減）、営業利益は11億2千3百万円（前年同期比33.5%減）、経常利益は12億2千万円（前年同期比31.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億4千万円（前年同期比34.1%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### (モビリティ&サービス事業)

主力の門型洗車機は、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、SS（サービス・ステーション）向けは、底堅い設備投資意欲に支えられて堅調に推移し、カーディーラー向けでは、新車販売の回復と整備の省力化に伴う需要増により設備投資が活発となり、伸長しました。オイル機器は、エアコンプレッシャーが最需要期の夏場を過ぎて伸びが鈍化したものの、前年同期を上回りました。情報機器では、一般店舗向け小型表示機は、新型コロナウイルスの影響が続く中、前年並みに推移しました。また、SS向け価格看板は上期の状況を回復するまでには至らなかったものの、大手顧客向けの大型ビジョンが伸長しました。

その結果、売上高は前年同期比5.4%増の133億7千8百万円となりました。

#### (ライフ&サポート事業)

主力製品の農家向け低温貯蔵庫は、新型コロナウイルスの影響による展示会中止や前年度の反動などで低調に推移しました。電気圧力鍋などの一般家庭向け商品は、前年顕著だった巣ごもり需要に一服感が見られ低調に推移し、もちつき機や保冷米びつは、ベトナム（ホーチミン市）にある海外拠点がロックダウンの影響により生産が制限され、大きく落ち込みました。また、音響関連は、前年同期のような新商品特需がなく、売上げが伸び悩みました。一方、食品加工機は、海外市場では、一部地域で経済活動の再開により販売は徐々に回復傾向にあり、前年同期を上回りました。

その結果、売上高は前年同期比17.2%減の44億6千9百万円となりました。

#### (住設機器事業)

住設機器としては、主に木・アルミ複合断熱建具、反射板式消音装置、鋼製防火扉等を製造・販売しております。コロナ禍に起因する木材価格の高騰や供給不足（いわゆる「ウッドショック」）、また鋼材など建築資材の価格高騰や納期遅延による工期の延長などにより、売上げが減少しました。

その結果、売上高は前年同期比16.9%減の12億7百万円となりました。

#### (その他の事業)

保険代理業、不動産管理・賃貸業及び長野リンドンプラザホテルの運営に係るホテル業が主体となります。ホテル業は、新型コロナウイルス感染症に対する感染防止策を徹底し営業を継続する中、9月末で全国各地に発令されていた緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の解除を受けて、ビジネス客や観光客の利用が増加しました。また、各種スポーツ大会やイベントが開催されるようになり宿泊需要も回復したことにより、売上げは前年同期を上回りました。

その結果、売上高は前年同期比57.1%増の9千4百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ21億3千5百万円増加し272億4千8百万円となりました。流動資産は24億4千9百万円増の166億8千4百万円、固定資産は3億1千4百万円減の105億6千4百万円となりました。これは主に事業の閑繁等の季節的要因に伴い受取手形及び売掛金が6億9千6百万円増加したことと、たな卸資産が15億8千7百万円増加したことによるものであります。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債の合計は、前連結会計年度末に比べ13億9千9百万円増加し145億6千2百万円となりました。流動負債は11億1千4百万円増の113億5千6百万円、固定負債は2億8千5百万円増の32億5百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が4億7千9百万円増加したこと、短期借入金が増加した4億2千万円増加したこと、長期借入金が増加した2億3千6百万円増加したことによるものであります。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の合計は、前連結会計年度末に比べ7億3千5百万円増加し、126億8千6百万円となりました。これは主に利益剰余金が増加した6億2千4百万円増加したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の業績予想につきましては、2021年4月28日発表の「2021年3月期決算短信」に記載しております業績予想から変更はございません。

今後、業績予想数値に修正が生じる場合は、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,474,349	3,525,003
受取手形及び売掛金	5,515,664	6,212,464
商品及び製品	1,860,639	2,070,816
仕掛品	1,305,778	1,980,951
原材料及び貯蔵品	1,778,099	2,480,019
その他	315,599	428,342
貸倒引当金	△15,319	△13,438
流動資産合計	14,234,811	16,684,159
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,737,838	1,770,646
機械装置及び運搬具(純額)	352,025	306,970
土地	3,523,229	3,523,229
その他(純額)	714,574	585,056
有形固定資産合計	6,327,668	6,185,903
無形固定資産		
のれん	877,572	711,974
その他	989,075	931,425
無形固定資産合計	1,866,648	1,643,399
投資その他の資産	2,684,221	2,734,971
固定資産合計	10,878,538	10,564,274
資産合計	25,113,350	27,248,433

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,083,477	1,562,835
短期借入金	3,120,000	3,540,000
1年内返済予定の長期借入金	679,613	875,888
未払金	3,742,477	3,790,205
未払法人税等	523,907	108,863
賞与引当金	499,357	285,757
引当金	154,633	154,633
その他	439,077	1,038,392
流動負債合計	10,242,542	11,356,575
固定負債		
長期借入金	1,993,911	2,230,384
退職給付に係る負債	175,898	226,747
その他	750,646	748,709
固定負債合計	2,920,455	3,205,841
負債合計	13,162,998	14,562,416
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,373,552	3,373,552
資本剰余金	2,947,095	2,945,473
利益剰余金	5,749,370	6,373,950
自己株式	△492,406	△473,782
株主資本合計	11,577,611	12,219,194
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	399,493	370,090
繰延ヘッジ損益	2,119	—
為替換算調整勘定	△89,543	52,349
退職給付に係る調整累計額	60,670	44,381
その他の包括利益累計額合計	372,739	466,821
純資産合計	11,950,351	12,686,016
負債純資産合計	25,113,350	27,248,433

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月21日 至 2020年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月21日 至 2021年12月20日)
売上高	19,604,601	19,150,089
売上原価	12,939,943	12,828,514
売上総利益	6,664,658	6,321,575
販売費及び一般管理費	4,973,985	5,197,828
営業利益	1,690,672	1,123,747
営業外収益		
受取配当金	58,090	44,248
その他	98,810	95,095
営業外収益合計	156,900	139,344
営業外費用		
支払利息	38,722	30,686
その他	17,693	12,133
営業外費用合計	56,416	42,820
経常利益	1,791,157	1,220,271
特別利益		
固定資産売却益	—	1,361
特別利益合計	—	1,361
特別損失		
固定資産除売却損	125	289
投資有価証券評価損	3,283	459
貸倒引当金繰入額	18,040	—
その他	49	—
特別損失合計	21,499	749
税金等調整前四半期純利益	1,769,658	1,220,883
法人税、住民税及び事業税	561,050	385,731
法人税等調整額	84,305	94,253
法人税等合計	645,355	479,984
四半期純利益	1,124,302	740,898
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,124,302	740,898



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月21日 至 2020年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月21日 至 2021年12月20日)
四半期純利益	1,124,302	740,898
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	203,622	△29,402
繰延ヘッジ損益	△3,463	△2,119
為替換算調整勘定	△55,352	141,892
退職給付に係る調整額	△7,843	△16,288
その他の包括利益合計	136,963	94,082
四半期包括利益	1,261,265	834,981
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,261,265	834,981

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年3月21日至2020年12月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	モビリティ& サービス事業	ライフ& サポート事業	住設機器事業	その他の事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,690,904	5,399,664	1,453,730	60,302	19,604,601	—	19,604,601
セグメント間の内部売上 高又は振替高	3,002	361,068	924	126,973	491,969	△491,969	—
計	12,693,907	5,760,732	1,454,654	187,275	20,096,571	△491,969	19,604,601
セグメント利益又は損失 (△)	2,087,743	598,578	△27,362	△22,602	2,636,357	△945,684	1,690,672

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△945,684千円には、セグメント間取引消去18,686千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△964,370千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない四半期連結財務諸表提出会社の費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2021年3月21日至2021年12月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	モビリティ& サービス事業	ライフ& サポート事業	住設機器事業	その他の事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	13,378,380	4,469,101	1,207,863	94,744	19,150,089	—	19,150,089
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,811	380,546	311	128,859	511,529	△511,529	—
計	13,380,192	4,849,648	1,208,175	223,603	19,661,619	△511,529	19,150,089
セグメント利益又は損失 (△)	2,115,899	206,595	△176,986	27,813	2,173,322	△1,049,574	1,123,747

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,049,574千円には、セグメント間取引消去19,828千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,069,403千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない四半期連結財務諸表提出会社の費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(連結子会社の吸収合併)

当社は、2022年1月17日開催の取締役会において、当社100%出資の連結子会社であるエムケーミクス株式会社を吸収合併（以下「本合併」という）することを決議し、同日付で合併契約を締結いたしました。

1. 本合併の目的

当社は、「美・食・住」を軸としつつ事業分野の拡大を図るため、2018年6月にエムケーミクス株式会社をM&Aにより連結子会社といたしました。エムケーミクス株式会社は、攪拌機の製造及び販売を主力としており、当社と接点のなかった業界に販路を有しています。今後、組織運営の一体化による技術力の向上と開発・生産・営業・アフターサービスの強化を通じて、一層の事業基盤の拡大を目指すため、同社を吸収合併することといたしました。

2. 本合併の要旨

(1) 企業結合日

2022年3月21日（予定）

(2) 合併方式

当社を存続会社とし、エムケーミクス株式会社を消滅会社とする吸収合併

(3) 結合当事者企業の名称及び事業の内容

名 称	エムケー精工株式会社	エムケーミクス株式会社
事業の内容	モビリティ&サービス機器、ライフ&サポート機器の製造販売	攪拌機の製造及び販売

3. 合併後の当社の状況

本合併による当社の商号、本社所在地、代表者の役職・氏名、事業内容、資本金及び決算期に変更はありません。

4. 会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 2019年1月16日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日）に基づき、共通支配下の取引として会計処理を行う予定であります。